



北九州市
ホームページ

主な内容

- 特集 1~2
減らそう! 「プラスチックごみ」と「食品ロス」
 - トピックス 3~4
●新型コロナウイルス
正しい知識で、正しく防ぐVol.4 など
 - まちがいファイブ 5
 - 情報ステーション 6~11
- *最終ページは人口データと若松区の情報

関連情報は 3ページへ

～新型コロナウイルス感染拡大防止のために～

- 「自分が感染しているかもしれない」という意識を常に持ちましょう。
- マスク、手洗い、人との距離、3密の回避など、「新しい生活様式」を実践しましょう。

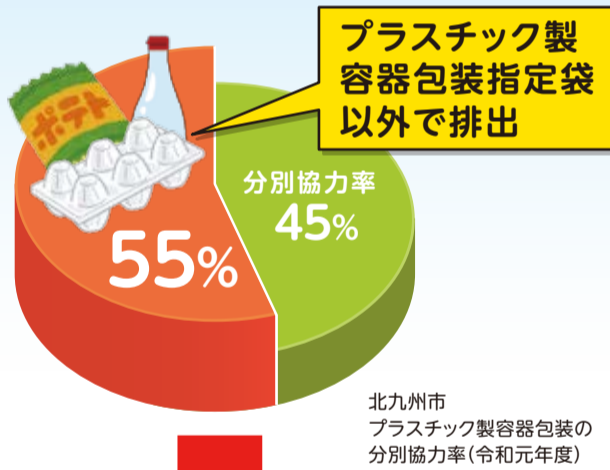
北九州市新型コロナ
ウイルス相談ナビダイヤル
☎0570・093・567
☎522・8775

はじめよう! / 新しいエコ生活様式

プラスチックごみの海洋への流出や食品ロスなど、ごみに関する問題への対応が喫緊の課題となっています。さらに最近では、新型コロナウイルスの影響で自宅にいる時間が増えたことなどにより、家庭から出されるごみの量が増加しています。コロナ禍で「新しい生活様式」が求められるこの機会に、「環境にやさしい」視点も加え、「新しいエコ生活様式」に取り組んでみませんか。

考えよう! プラスチックごみ

2050年には、魚より海洋プラスチックごみの量が多くなると予測されています。プラスチックは便利な素材ですが、不要なプラスチックごみを発生させない、正しく分別するなど適切に処理しなければ、新たな環境問題を引き起こします。



このままじゃ
いけない!!

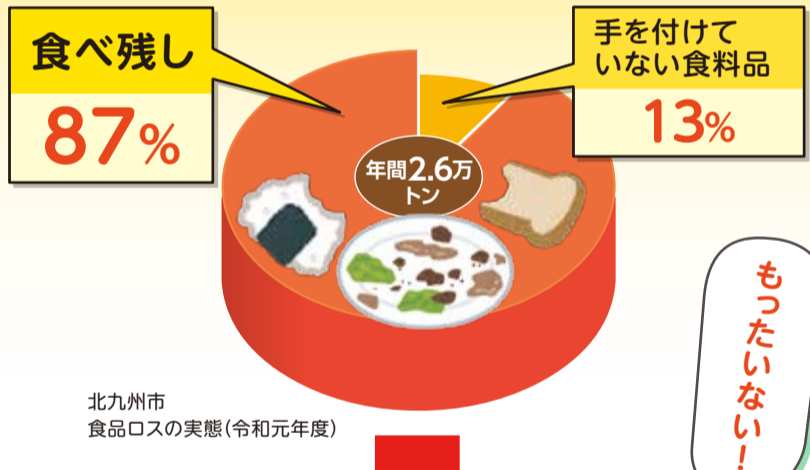


本市ではプラスチック製容器包装の
約6割が家庭ごみとして
出されています!

©ていたん,北九州市

向き合おう! 食品ロス

本来食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」。食べ物を捨てることはもったいないことで、環境にも悪い影響を与えます。本市の各家庭からも年間約2.6万トンの食品ロスが発生しています。この量は1世帯あたり約3万7千円の食品購入費に相当します。



もったいない!



本市の家庭の食品ロスのうち、
食べ残しが約9割を
占めています!

©ブラックていたん,北九州市

◀特集は2ページに続きます

北九州市長 北橋 健治

10月は「3R(※2)推進月間」と「食品ロス削減月間」です。新型コロナウイルス感染症を防ぐために、日常の生活スタイルを見直している今だからこそ、未来の環境のために、日々の暮らしの中でできることから一つずつ始めてみませんか。

(※1)SDGs:持続可能な開発目標
(※2)3R:リデュース(Reduce)、リユース(Reuse)、リサイクル(Recycle)の3つの語の頭文字をとった言葉で、ごみの発生抑制、再使用、再生利用をいいます。

特集
減らそう! 「プラスチックごみ」と「食品ロス」
市長からのメッセージ
近年、海洋汚染の観点からプラスチックごみへの関心が世界的に高まっています。わが国でも7月からレジ袋が有料化されるなど、プラスチックごみの削減に向けた取り組みが広がっています。
また、食品ロスも世界共通の課題で、国内でも令和元年に「食品ロス削減推進法」が施行され、社会全体での対策が始まっています。
本市においても、「プラスチックスマート推進事業」や食べ物の「残しま宣言」運動など、市民一人一人ができる活動を通じて、持続可能な社会の実現を目指し、SDGs(※1)に掲げられた目標を達成するために多様な取り組みを重ねています。